

「凡事徹底」による 基本的な生活習慣の確立と 体力の向上

豊後大野市立緒方中学校

テーマ	前進～ひたむきに凡事徹底～		
全校生徒数	95名(男子41名 女子54名)		
全クラス数	4	教職員数	19名(内体育科1名)
体育推進教員名		小野 勇志	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆全校で「20mシャトルラン」「50m走」の平均値が低い

2 取組の計画

- (1) 体育授業の充実
 - ①ユニバーサルデザインの授業を展開する
 - ②単元を貫く学習カードの工夫をする
 - ③視聴覚教材を用いた授業を展開する
- (2) 校内体制の充実
 - ①「生活体力向上班」を創立する
 - ②全校体制での体育的行事を運営する
 - ③学校行事と連携した取組を充実させる
- (3) 生徒会との連携
 - ①「全校一斉長縄」「全校一斉体育」の実施
 - ②保体部主催の生徒会行事を一層充実させる

Do：実践内容

1 体育授業の充実

- (1) 活動内容と実施時間を掲示
 - ①授業の流れを掲示し視覚的にとらえる〔図1〕
 - ②目標やねらいを掲示する〔図2〕
- (2) 学習カードの工夫
 - ①単元1枚に毎時のめあてなどを掲載する〔図3〕
 - ②自己評価の基準を掲載する〔図4〕
- (3) 視聴覚機器の活用
 - ①8機のIpadを活用する〔図5〕
 - ②チーム練習の際に視覚的補助として活用する〔図6〕

2 校内体制の充実

- (1) 生活体力向上班を創立し、チームで連携する
 - ①生活アンケートを実施し統計を取る
 - ②結果を研修で報告し対策を練る

3 生徒会、部活動との連携

- (1) 全校体育の実施
 - ①市陸上大会、駅伝大会前に全校で取組む〔図7〕
 - ②強大会に向けて放課後ランニングをする
- (2) 全校長縄の実施
 - ①生徒会保体部主導で実施する〔図8〕
 - ②月2回全校で実施する

●工夫したこと（&苦勞した点）

- ①体育授業の充実を図るため、視聴覚教材を導入した
- ②学習カードの自己評価に「思考・判断」の観点を入れた
- ③1学期実施した新体力テストの「20mシャトルラン」の再測定を長距離走の授業の前後に行った
- ④新体力テストのそれぞれの項目のベスト20を校内掲示した
- ⑤校内に「体力向上掲示板」を設け、様々な情報を掲示した
- ⑥中体連行事と関連した教育課程を編成し、体育の授業を中体連行事と関連させて実施した
- ⑦臨時に校時表を作成し、勤務時間内に放課後ランニングを行った
- ⑧夏季休暇の8時から長距離走トレーニングを行い、基礎体力の向上を図った
- ⑨体育的行事と連動させた体育指導を行った

Check：取組の成果

- ①昨年度からの取組を継続させることで、今年度の運動への愛好度が90%となった
- ②学習カードの工夫により、単元の見通しを持って授業を受けられるようになった
- ③校内掲示板を活用することで、生徒の意欲が高まった
- ④市体育主任会で授業実践を報告し、取り組みを広げることができた
- ⑤視聴覚教材を活用することにより、練習の効果が上がり、技能の向上が見られた
- ⑥長距離走の授業前後に「20mシャトルラン」を測定することで、全学年が全国平均値を越えた

Action：今後の課題

- ①視聴覚機器の活用を増やす
- ②校内研修で全職員との研究をさらに進める
- ③小学校体育主任との連携
- ④市体育専科との連携
- ⑤市内全中学校との情報交流

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体育授業を充実させることで、運動好きな生徒が増えていく。それに伴い、体力も向上している。体力の向上が学習成績に反映されている。また、部活動の戦績にもつながり、好成績を収めている。

